

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。  
・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

#### FN トウネスミモチの駆除



3月5日(土)10時~12時、総合博物館、CSRのメンバー10人が参加して、角脇川の中に侵入しているトウネスミモチの駆除を行いました。各自、手ノコヤ刈込みバサミを使って

伐採をしました。今回の目的は、外来植物が成長し過密になっている角脇川周辺の樹木の間引き、手入れを行ない、キャンパスの里山環境を健全な状態に戻そうというものです。



トウネスミモチは、中国原産で庭木や街路樹として植栽されますが、野生化したものは、雑木



林や極相林に侵入しやすく、要注意外来生物に指定されています。



#### キャンパスのアヤメ属

生態実験園に植えられているアヤメの仲間

##### ◆アヤメ

花の付け根…網目状  
葉の形…幅が細い  
生育地…陸地 開花…5月上旬



アヤメ



カキツバタ

##### ◆カキツバタ

花の付け根…白い筋  
葉の形…幅が広く平ら  
生育地…水の中 開花…5月中旬



##### ◆ハナショウブ

花の付け根…黄色  
葉の形…中肋がはっきりしている  
生育地…水辺 開花…5月末~6月

要注意外来生物として扱われる キショウフ

#### サクラのネームプレートを取り付けました

#### CSRによる緑化活動

3月18、25日に、キャンパス内のサクラ61種160本にネームプレートを取り付けました。サクラのプレートは、品種名を漢字表記とし、ふりがなをつけました。キャンパス全域の12品種のほかに、2018年以降に植栽された国際研、西駐車場周辺のサクラにもプレートがつけました。ぜひ春にサクラ巡りを楽しんで下さい。



#### 栽培実習・R4年春コース



みなさん、雨が降っても、楽しく実習を体験されています。

R4年春コースが始まりました。今回も多くの参加希望がありました。今年は、白いトウモロコシや緑色のナスなど、今までと少し違った品種の野菜も栽培します。初回から雨の日に当たる事が多く、予定通り進まないこともありましたが、5月中旬には、全ての苗を植え終わることが出来ました。



#### キャンパスの松枯れ

キャンパスの自然林でアカマツの松枯れが急速に進んでいます。工学部西斜面は、多様な生き物の住みかになっていましたが、特にこの付近の松枯れがひどく、今後の環境変化がどのように影響を受けるのか心配です。南大橋付近では、アカマツの実生苗の保護を行っています。



2009年頃は、青々としたアカマツ林が広がっていました。

#### 二神山ハイキング

3月29日、学童保育の子どもたち14名が二神山でハイキングを行いました。見晴らしのいい場所で自分たちの住んでいる西条の町を眺めたり、山城跡を観察しながら頂上を目指しました。山頂では、野鳥クイズも行いました。帰りは、稲荷神社に立ち寄り、大学に戻りました。



#### 園内の植物

##### レモン Citrus limon



##### ミカン科

原産地はヒマラヤ東部。枝には棘がある。レモンは四季咲き性が強く、紫色の萼をつけ、白かピンクで強い香りのする5花弁の花を咲かせる。写真はリスボン種。

#### 園内の花

##### サツキ Rhododendron indicum



##### ツツジ科

山奥の岩肌などに自生する。盆栽としても親しまれる多くの園芸品種がある。酸性土壌を好み、栽培には、主に鹿沼土を用いる。開花期は他のツツジ類と比べて1か月遅い。



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科  
東広島植物園

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp